

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

嘉手納町

健康に対する自覚を高め、健康づくりの輪を家庭へ、地域へと広げる

嘉手納町では、昭和四十四年、婦人会のメンバーが中心となって「嘉手納町結核予防婦人会」を結成。時代の流れとともに、昭和四十八年に「嘉手納町健康を守る婦人会」へ、そして平成五年には「嘉手納町健康を守る会」として二度の改称を行っています。その活動は終始一貫しており、行政と協働で地域の健康づくりに努めています。現在の会員数は十七名。六つの行政区から、それぞれ三名ほどが参加しています。



嘉手納町健康を守る会のみなさん。地域貢献の意識が高く、同会に限らずボランティアでさまざまな活動に参加しています

「町の実施する集団住民健診の会

場で、検尿の「カップ」を配ったり、お年寄りや身体の不自由な方の介添えをしてくれます。こまやかな気配りで健診もスムーズに進みますし、なにより会場の雰囲気や和みです。町と町いきいき健康課の内間美代子さん。当初の活動は、結核撲滅のための募金運動として複十字シールを販売することがメインでしたが、最近ではメタボリックシンドローム対策に力を入れていきます。平成二十年度から始めた特定健康診査では、会員が対象者の一人ひとりへ電話で受診を呼びかけました。同課の新垣榮幸課長は「おかげさまで受診率は県内でも高いようです。なにしろ四十年と長い実績のある会で、平成三年には(財)日本公衆衛生協会会長賞を授与されています」とその活動を讃えます。



嘉手納町福祉部いきいき健康課のみなさん。前列左から2人目が新垣榮幸課長、3人目が内間美代子さん

嘉手納町役場 いきいき健康課
TEL:098-956-1111

もみんなで勉強していききたいですね」と意欲を見せます。会員からは「食に関する意識が変わった」、「自分自身にとっていい勉強になった」など好評を得ています。

会員一人ひとりの自覚によって、家庭から地域へと健康づくりの輪が広がっています。



加工食品にどれだけ砂糖や脂が含まれているか、目でわかるように展示。参観者の質問に丁寧に答えます

大宜味村

協働の精神が生きる「長寿の里」の取り組み

「長寿の里」で知られる大宜味村は、村の人口の三割が六十歳以上。村内の老人クラブ連合会の会員は約八百名で八十代が大勢を占めます。

村ではお年寄りにスポーツを通じて、健康を保持し、社会活動への参加意欲を高めてもらうと、ゲートボールやグラウンドゴルフなどのスポーツ大会を開催しています。さらにカラオケや社交ダンス、民謡などのさまざまなサークル活動も村の公民館事業として実施。最近では、お年寄りが二十坪以内の畑で育てた野菜の品評会を開く「アツタイグワー」事業も



玉入れ競争は第一回大会から継続して行われている種目の一つ。その他、老人・婦人リレーや学年別リレー、三代リレーなども恒例です



各区老人会、村婦連役員、村三役、中学生、青協の各チームで競われる「縄めい競争」では老人会チームが圧倒的な強さを誇ります

始まりました。このユニークな取り組みはグリーンツーリズムへの展開も視野に入れ、多くの人々と交流を図ることでさらに長寿を促進することが期待されています。

また、村では年中行事の一つに毎年十月に開催される老人婦人合同スポーツ大会があります。この日は村の老若男女はもちろん、村外に住む村出身者も集まって、リレーやゲームを競ったり、踊りを披露したり、と和気あいあいとした交流風景が繰り広げられます。

同大会は平成二十年度で三十四回目。現在、大宜味村老人クラブ連合会会長の仲井間幸子さんは、「当時の村厚生課の課長が今帰仁村の老人会の運動会を見て、うちもやろうじやな

いか、と企画したことが始まりだったと聞いています。でも、老人会といっても家族みんなが集まるので、結局は婦人会と合同で開催することになりました」と振り返ります。

「とにかく元気なお年寄りが多くですね。このスポーツ大会も老人会の主導で開催しています。とはいえ力仕事もありますので、村役場や教育委員会、社会福祉協議会、青年団協議会も実行委員会のメンバーに加わっており、各学成人会や小中学生も参加しています。また、辺土名高校放送部員が場内放送を務めるなど、村ぐるみで運営しています」と話す村企画観光課の福地亮さん。

村の行事には村ぐるみで取り組むという、人と人のつながりの強さが「長寿の里」の秘訣のようです。



村企画観光課 福地 亮さん
大宜味村老人クラブ連合会 仲井間 幸子さん

大宜味村役場 企画観光課
TEL:0980-44-3007

沖縄県広報誌 平成21年2月1日発行第33巻2号通巻401号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文:今泉 真也
こども時代、世界はすぐそばにあった。おとなになり、世界は広がったけれど、何か遠くなった気がする。自分の世界に集中することの姿は、いつも少しまぶしい。

■P12-P13 季節情報提供
(財)沖縄観光コンベンションビューロー



いよいよプロ野球春のキャンプです！今年もWBCもありますので、野球好きな私にとってはとても楽しみです！春の甲子園もありますね！ワクワクしながら応援したいと思えます。(ノア)

身も凍るような寒い日々を過ごしてウオーキングの機会が全くありません(泣)。

今月の行事でまず思い浮かべるのは節分ですが、今回も娘に全力で沢山の豆を投げられそうなのが楽しみです。

我が家の行事を豆まきから恵方巻きのまるかぶりに変えたいなあと思うのは、ただ単に僕が食いしん坊なだけなんだろうか？(Takako)

